

製品名: EAAT1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10264**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC1A3
別名	SLC1A3; EAAT1; GLAST; GLAST1; Excitatory amino acid transporter 1; Sodium-dependent glutamate/aspartate transporter 1; GLAST-1; Solute carrier family 1 member 3
遺伝子 ID	6507.0
SwissProt ID	P43003
免疫原	抗血清はヒト EAAT1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 492-541

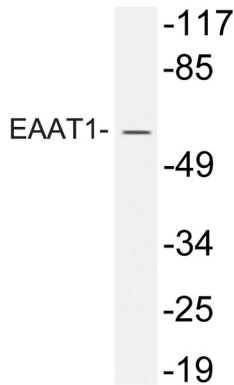
背景

この遺伝子は、高親和性グルタミン酸トランスポーターファミリーのメンバーをコードします。この遺伝子は、中枢神経系における

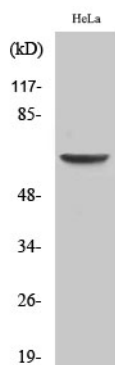
興奮性神経伝達の終結に機能します。変異は、エピソード性運動失調症 6 型と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]、疾患：SLC1A3 の欠陥は、エピソード性運動失調症 6 型 (EA6) [MIM:612656] の原因です。EA6 は、エピソード性運動失調、発作、片頭痛、および交代性片麻痺を特徴とします。機能：L-グルタミン酸だけでなく、L-アスパラギン酸と D-アスパラギン酸も輸送します。シナプス間隙から放出されたグルタミン酸を速やかに除去することにより、グルタミン酸のシナプス後作用を終結させるのに不可欠です。ナトリウムを共輸送することにより共輸送体として作用する。PTM:グリコシル化されている。類似性:ナトリウム:ジカルボキシレート (SDF) 共輸送体 (TC 2.A.23) ファミリーに属する。組織特異性:小脳で高度に発現するが、前頭皮質、海馬、基底核にも見られる。

研究分野

画像データ



EAAT1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



EAAT1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析